

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2021年11月

2021年度第1回二次電池部会を開催

2021年10月14日(木)、一般社団法人電池工業会は2021年度第1回二次電池部会をWeb会議で開催した。事務局よりBAJ競争法コンプライアンス・ルールを遵守し運営することが確認され、澁谷部会長、清水専務理事からの挨拶が行われた後、各委員会代表から2021年度上期活動実績および下期計画の報告がされた。

1. 部会長挨拶 (澁谷部会長)

4月から新部会長となりました。今後ともよろしくお願ひします。このようなコロナ環境下で対面での会議が開催できないことは残念ではありますが、積極的な議論をお願いします。

2. 専務理事挨拶 (清水専務理事)

工業会としては5月に新役員体制、村尾会長(GY)でスタートを切った。9月には正賛合同会議をWebにて開催した。コロナ対応としてWeb会議がかなり定着し、活動については影響なく実施できているように感じている。

国の活動を少し報告する。
自民党においてバッテリー議連が立ち上がり、経産省には情報産業課内に電池産業室という新たな部門ができ、電池について取り組みを強化していこうとしている。特に車載と定置用を含めて強化をするという方針が出ている。11月から蓄電池産業戦略官民協議会が立ち上がる予定であり、政策を追い風としていけたらよいと考えている。対象はリチウムイオン電池が主だと思うが、鉛電池にも関係が出てくるので注視をしていただきたい。BAJも会員企業と連携して対応していくので、よろしくお願ひしたい。

3. 前回議事録確認

前回議事録は、異議なく承認された。

4-①. 各委員会活動報告及び21年度事業計画

各委員長より2021年度上期活動実績および下期計画の報告がされた。各委員会の報告については、配布資料に基づいて実施されているため、配布資料内容と重なる部分は省略し、追加報告事項、審議結果、指示事項を主な記載事項とする。

◆広報総合委員会

上期活動報告内容、下期計画が確認され、承認された。

<報告>

- ・展示会・イベント関連；本年度もコロナ禍の影響を大きく受け、電池フェスタ開催を10月に予定していたが一旦来年3月に変更、3月開催の有無については11月までに見極める予定。手作り乾電池教室についてもコロナ影響を受け、申し込みが例年より少ない20団体となっている。9月までに9件開催済み、4件の延期、1件の中止申し入れを受けている。初の試みとしてオンライン教室を7月に実施し、今後も活用を図りたいと考えている。
- ・キャンペーン・PR活動；乳幼児誤飲防止の交通報告、小型二次電池リサイクル啓発記事広告等について報告された。また、新たな試みとして始めた啓発動画への告知(誘導)広告を行い、想定約2倍となる20万件超の視聴数を得ることができた。

- ・鉛電池に関しては、点検、早期交換啓発広告として、スポーツニッポン新聞等 4 件に掲載した。
- ・啓発キャンペーンとして、「電池を正しく使いましょう」キャンペーンを毎日新聞に 3 週連続掲載を行った。従来「未来の電池アイデアコンテスト」を実施していたが陳腐化してきていたため、「電池の川柳コンテスト」を代替として実施する。

◆国際環境規制総合委員会

上期活動報告内容、下期計画が確認され、承認された。

<報告>

- ・北米；米メイン州とオレゴン州で包装材の拡大生産者責任法が成立。
- ・インドネシア；各種物品へのラベル表示規則を全面改正、規則に該当する自動車用バッテリーへの表示要件もある。
- ・シンガポール；拡大生産者責任に基づく廃電気電子機器管理システムを開始、規制対象品としてバッテリーが指定されており、いくつかの要求事項が出されている。
- ・バングラデシュ；廃電気電子機器管理規則を公布、収集目標および RoHs 規定があり、鉛電池を含む全てのバッテリーが対象と解釈している。
- ・下期も継続して情報収集発信するとともに、「世界の電池環境規制の状況」冊子 12 版の改訂を実施していく。11 月に予定していた工場視察は中止とした（委員会は Web で実施）。

◆資材委員会

上期活動報告内容、下期計画が確認され、承認された。

<報告>

- ・共有金型管理状況について資料に基づき報告。更新確認 3 件、完了 1 件、検討中 2 件。
- ・金型費用を員数で償却できないかの検討を開始したが、業者より初期金額負担が大きく運用が困難との回答を得たため、検討終了。

◆自動車用鉛電池リサイクル委員会

上期活動報告内容、下期計画が確認され、承認された。

<報告>

- ・2021 年度上期 SBRA リサイクルシステムの運用状況報告；資料に基づき報告された。地域で見ると関東甲信越が増加、業種で見るとホームセンターが増加している。
- ・21 年に入って鉛価格が上昇しており、これが有価買取及び無償回収にどのような影響があるのか注視していく。
- ・21 年度の委託先監査については、ここまでコロナ禍で実

施できていないが、感染が収まりつつあるため、これから検討していく。

◆二次電池技術委員会

上期活動報告内容、下期計画が確認され、承認された。

<報告>

- ・各活動テーマの進捗状況については資料に基づき報告された（主な内容は以下の進捗）。

- ・ IEC60095(自動車始動用)、62902(識別表示) 関連
- ・ JIS D5302(二輪始動用)、C4402(浮動充電用サイリスタ整流装置)、C8704(据置鉛) 関連
- ・ SBA S0405(用語集)、G0202(小型制御弁式鉛取り扱い指針)、G0304(制御弁式鉛取り扱い指針)、G0902(浮動充電用整粒装置技術指針) 関連

- ・重要テーマ・トピックスとして、以下 3 点が報告された。

- ① 自動車用・二輪車用 鉛電池 IEC 規格改定・新規制定対応(IEC60095 シリーズ)；-2,-4（電池寸法）の FDIS が発行されたが、端子高さの公差が JIS と異なるため、次回改正時の要望事項としてコメント。補機用電池でサブグループが設定され、4 月から高頻度で web 会議が開催、試験方法についてワークショップ方式で検討中。
- ② 電池種類 識別記号表示（IEC62902）改訂チームが発足、「表示の背景色はバッテリーケース色と異なること」の削除を求め参画し対応しているが、過去一旦決着していた他の議論が再燃して進捗が遅くなっている状況
- ③ 欧州新電池規則案対応；環境委員会との合同会議にて、ミッションが明確になっていない現状では対応組織については当面新設せずに、技術委員会・環境委員会の共同マターとして対応することに決定した。

◆ P L 委員会

上期活動報告内容、下期計画が確認され、承認された。

<報告>

- ・2021 年度上期活動実績について資料に基づき報告された。
- ・活動で得られた成果として、「始動用バッテリーの市場における事故件数の調査・集計と事例確認」の解析を行った結果が資料に基づき報告された。爆発総件数については 19 年→20 年は 56→36 件と大幅な減少、内訳では

乗用車が前年比 7 件 / 39% 減。

- ・爆発発生推定要因別で見ると、20 年度も液切れが全体の 50% と最も高い状況が継続、委員会としてどのような啓発活動につなげるか検討する。
- ・21 年度下期の主な活動として、①乗用車用爆発防止啓発活動については、爆発件数が減少に転じたことを受け、当面監視案件として 21 年中の推移をみる、②「自動車用バッテリーの知識」改訂を継続する、③硫化水素発生事故防止への啓発活動について方向性（対象電池、対象ユーザーなど）を検討する。

◆産電リサイクル委員会

上期活動報告内容、下期計画が確認され、承認された。

<報告>

- ・広域認定変更申請については、9 月に環境省本省の審査が完了。広域認定変更申請については、昨年度からコロナ禍影響で大幅に遅れが生じており、新たな収集運搬業者が登録できないなどの実務にも影響が出ている。
- ・アルカリ電池の広域先であった東邦亜鉛が行政処分により除外された結果、現在一社処理になっている。新たな処理先として J&T 環境を調査していたが、処理後の Cd の扱いが不明瞭で把握できないため検討を中断、他の業者の検討を行う。
- ・SDM の蓄電デバイスシステム事業の新会社への分割（12 月 1 日）に対応するための、広域認定申請の進め方について環境省に問い合わせ、対応を決定した。
- ・広域回収量、小型制御弁式電池回収量を資料に基づき報告。

<事務局補足>

- ・環境省とのやり取り関係については、委員会側でできる範囲での工夫はしているものの、遅れが止まらない状況。
- ・広域回収量についてこれまで増加傾向であったが、21 年度は 8 月までの集計で昨年比 10% 程度低下してい

る。今後の状況を見る必要はあるが、鉛価格が高くなっていることが影響しているのではないかと考えている

◆環境委員会

上期活動報告内容、下期計画が確認され、承認された。

<報告>

- ・欧州 ELV 情報；次回改訂時に、鉛電池適用除外が外れるとの情報は現時点では確認できていない。現行の ELV 指令の影響評価結果が出ており、公開協議がスタートしている。法案提出は 22 年度第 4 四半期の予定。
- ・欧州新電池規則案対応；案に対する関係団体からの意見が出されている状況。
- ・SDS ガイドライン改訂；関連 JIS の改訂に伴った第 5 版発行を 21 年度中に実施予定。

<事務局補足>

- ・欧州電池規則に対する EUROBAT の Position Paper に、EUROBAT の意見として、22 年の第 4 四半期までに決着の可能性は低いとの意見が記載されている
- ・9 月 15 日欧州委員会から新電池規則案への修正案が発行されている

4-②. 審議事項

特になし

5. 事務局報告・連絡、その他

- ・次回開催予定
2022 年 2 月 17 日（木） 13：30～ 東京 機械振興会館 6-62 会議室 or web 会議
- ・次々回開催予定
2022 年 10 月 14 日（木） 13：30～ 東京 機械振興会館（仮決め）

2021年10月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	7日(木)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、欧州PFAS対応。
	15日(金)	広報総合委員会	でんち川柳コンテスト、でんちフェスタ、パネルデザイン、チラシデザイン確認、他。
二次電池部会	8日(金)	充電器分科会	SBA S 0904、9資-09 改訂審議、他。
	14日(木)	二次電池部会	各委員会からの上期実績報告と下期計画報告。
	22日(金)	電気車鉛分科会	SBA S 0804電気車用鉛蓄電池の技術指針改訂審議、他。
	25日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域認定状況確認、広域に関する基本契約案見直し審議、他。
二次電池第2部会	5日(火)	CFP規格 国際会議	セッション4(1日目) CFP計算方法 審議。
	6日(水)	CFP規格 国際会議	セッション4(2日目) CFP計算方法 審議。
	8日(金)	法規WG	蓄電池の規制検討。
	8日(金)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討。
	12日(火)	ANSI 国際会議	ANSI規格について米国とWeb会議(1日目)。
	13日(水)	ANSI 国際会議	ANSI規格について米国とWeb会議(2日目)。
	14日(木)	駆動用車載LIB委員会・リユース規格分科会合会議	車載LIBのリユースに関する検討。リユースガイドライン規格の検討。
	14日(木)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応。
	15日(金)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応。
	18日(月)	リチウム二次分科会	IEC62133-2改正、SBA G1103廃止審議。
	19日(火)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC規格対応。
	19日(火)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	21日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	ニカド電池及びニッケル水素電池のIEC規格対応。
	25日(月)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定。
	27日(水)	国際電池規格委員会	IEC規格 ANSI規格の審議対応。
29日(金)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。	
29日(金)	法規WG	蓄電池の規制検討。	
一次電池部会	6日(水)	規格委員会	IEC60086-1/-2/-3/-4/-5/-6及びIEC62281の課題検討。 JIS C 8500及びJIS C 8515の改正準備。
	8日(金)	コイン形リチウム分科会	ISO TC114 小グループ会議対応審議。
	22日(金)	PL委員会	BAJウェブサイトにおける注意喚起掲載内容の検討。

8 月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2021年 8月）

単位：数量一千個、金額一百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	401,019	88,666	138%	126%	3,089,821	713,961	123%	129%
一次電池計	245,533	8,899	135%	126%	1,899,521	65,693	118%	116%
酸化銀電池	54,886	1,068	222%	244%	466,719	8,958	133%	151%
アルカリ乾電池計	114,602	4,580	103%	103%	828,449	31,196	109%	103%
単 三	-	-	-	-	-	-	-	-
単 四	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	25,695	1,381	109%	110%	185,899	8,768	127%	102%
リチウム電池	76,045	3,251	164%	150%	604,353	25,539	121%	125%
二次電池計	155,486	79,767	143%	125%	1,190,300	648,268	133%	130%
鉛電池計	2,016	12,914	98%	100%	19,421	119,952	106%	103%
自動車用	1,508	8,246	94%	99%	14,716	77,394	106%	106%
その他の鉛蓄電池	508	4,668	113%	102%	4,705	42,558	105%	98%
アルカリ蓄電池計	37,627	18,329	99%	128%	338,413	151,141	111%	129%
ニッケル水素	35,189	17,771	100%	130%	316,920	146,602	112%	130%
その他のアルカリ蓄電池	2,438	558	84%	100%	21,493	4,539	94%	100%
リチウムイオン蓄電池計	115,843	48,524	169%	133%	832,466	377,175	146%	142%
車載用	83,018	35,996	212%	142%	576,488	281,416	170%	152%
その他	32,825	12,528	112%	114%	255,978	95,759	110%	119%

8月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2021年8月）

単位：数量一千個、金額一百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸出）	216,644	51,082	161%	124%	1,775,261	421,156	137%	137%
一次電池計	114,137	3,448	199%	207%	888,816	26,932	137%	154%
マンガン	188	14	-	-	1,089	59	-	-
アルカリ	17,374	239	161%	146%	118,308	1,738	173%	149%
酸化銀	45,327	840	259%	254%	373,464	6,254	146%	166%
リチウム	51,247	1,703	178%	165%	395,951	13,981	123%	131%
空気亜鉛	0	0	0%	0%	0	1	0%	9%
その他の一次	1	651	640%	522%	4	4,899	170%	259%
二次電池計	102,507	47,635	133%	120%	886,444	394,224	137%	136%
鉛蓄電池	164	1,121	116%	115%	1,254	8,729	124%	125%
ニカド	536	108	46%	75%	4,208	871	71%	107%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	4	760%	459%
ニッケル水素	15,956	8,733	108%	129%	118,176	69,419	121%	116%
リチウムイオン	80,548	27,947	150%	131%	675,205	239,112	143%	159%
その他の二次	5,303	9,726	72%	94%	87,601	76,090	120%	106%
全電池合計（輸入）	129,346	23,390	108%	151%	976,731	170,855	95%	121%
一次電池計	121,354	1,845	107%	93%	914,406	14,097	94%	91%
マンガン	14,378	160	103%	102%	93,183	968	89%	88%
アルカリボタン	2,337	20	72%	107%	15,903	116	51%	51%
アルカリその他	88,146	1,114	109%	107%	677,959	8,347	98%	98%
酸化銀	252	9	68%	94%	1,586	59	113%	121%
リチウム	12,048	483	105%	87%	85,085	3,729	92%	91%
空気亜鉛	4,187	56	114%	104%	40,661	723	90%	77%
その他の一次	6	3	587%	2%	28	155	69%	30%
二次電池計	7,992	21,545	136%	159%	62,325	156,758	99%	124%
鉛蓄電池	646	3,062	100%	105%	6,194	30,007	113%	120%
ニカド	71	191	106%	176%	493	1,570	114%	172%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	2	-	-
ニッケル水素	1,986	361	124%	96%	15,938	3,110	100%	104%
リチウムイオン	5,213	16,597	148%	176%	39,362	112,172	97%	125%
その他の二次	77	1,333	193%	193%	337	9,898	76%	137%